

監査の視点から押さえる 「会計上の見積り」の 実務要点

- I 仮定の合理性、見積りの方法など
「会計上の見積り」項目に共通する監査の視点
- II 事業計画との整合性は説明可能か
のれんの評価に関する見積りのポイント
- III 「業績が回復基調」は「兆候なし」ではない
固定資産の減損会計における見積りのポイント
- IV 売価は販売可能性も考慮しているか
棚卸資産の評価に関する見積りのポイント
- V スケジューリングの根拠は明確に
繰延税金資産に関する見積りのポイント

「会計上の見積り」項目は、その名のとおり「見積り」を含むため、監査上、重要な虚偽表示リスクが高いと判断されることも少なくない。監査人への説明に苦勞した経験もあるのではないだろうか。そこで本特集では、監査の現場でどういう点をどういう意図でみられるのか概観し、それに対応するための実務のポイントを解説してもらった。話題となることの多い項目をピックアップしているので、円滑な決算⇒監査⇒開示につなげていただければ幸いである。